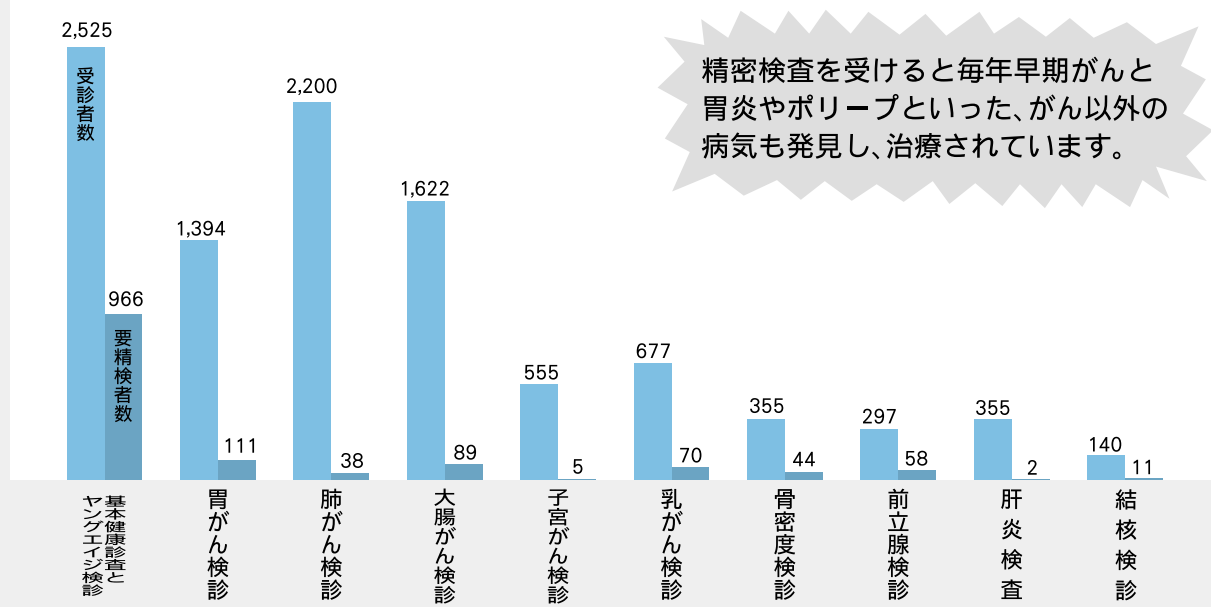
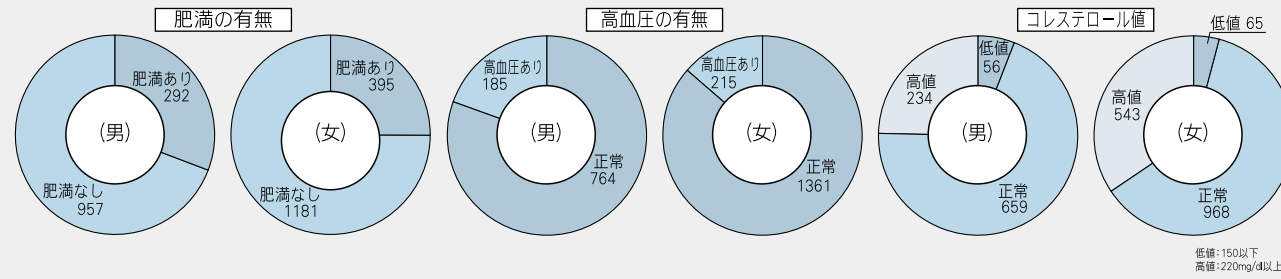


検診受診者数と要精密検査者数



精密検査を受けると毎年早期がんと胃炎やポリープといった、がん以外の病気も発見し、治療されています。

ひとつひとつは軽度でも、重なると危険!!



検診結果を上手に生かして健康を保とう

- ① 受診結果はどうだったか
 - 異常なし → 今のところは心配なし。病状が現れたときは注意が必要です。
 - 要指導 → 改善項目あり。健康相談などを利用し生活習慣病の見直しをしましょう。
 - 要医療 → まずは病院で病気の有無を確認しましょう。
- ② 数年前から変化の傾向を知る

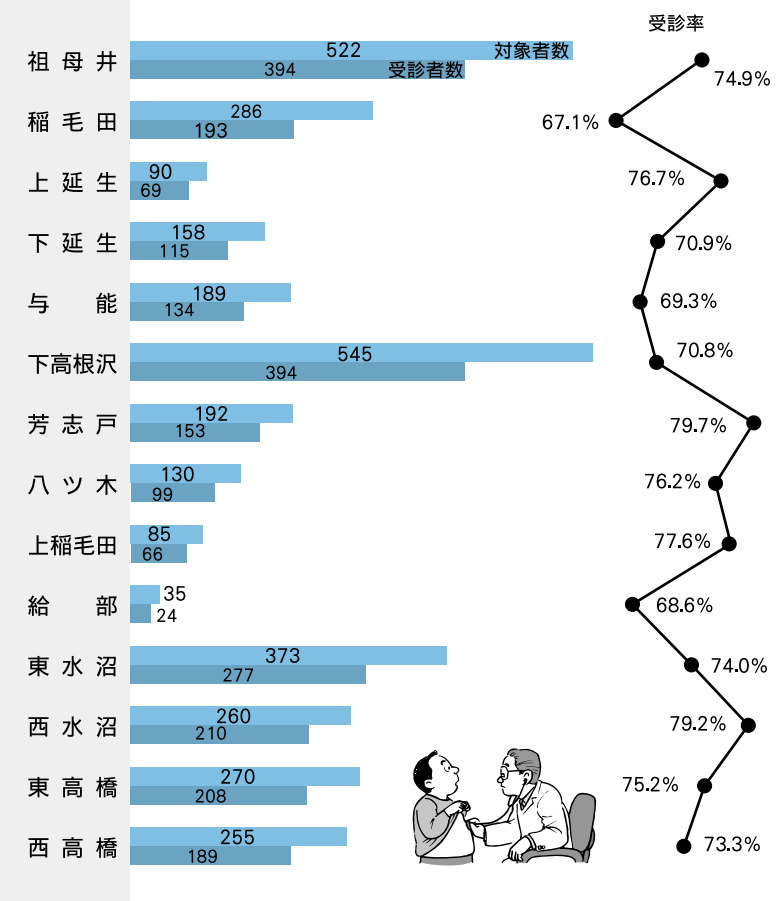
年々体重が増えたり、それに伴い検査値が上がっているなど、健康手帳に結果をファイルしておきましょう。
- ③ 日常生活の中で思いあたる原因について、改善するため目標を決める。
(健康相談を毎週火・木に保健センターで開催中)
- ④ 実践

1に運動、2に食事、3に休養、4に禁煙、5に薬
- ⑤ 評価
 - 目標が達成できたか
 - 実践に無理がなかったか
 - 次の年に検診を受け、データを比較する



健康福祉課健康係 ☎028 (677) 6042

基本健康診査・ヤングエイジ検診受診状況



※対象者はH17年1月調査による。

町では毎年、総合検診とがんセンター検診を行っています。総合検診では、たくさんの方に受診していただきました。皆さんの健康の保持増進に役立てていただき、平成年度4月〜7月に実施した結果をお知らせします。

あなたの検診結果は… 大丈夫ですか？

忘れ物を預かっています

健康福祉課健康係 ☎028 (677) 6042
総合検診の忘れ物(靴・サンダル・時計など)を預かっています。心当たりのある人はご連絡ください。

これまでの各種検診の受診実人数は、2,906人でした。検診別では、最近注目されている「メタボリックシンドローム」の項目が含まれる基本健康診査(ヤングエイジ検診含む)の受診が最も多く、2,525人で、今年度から生活機能評価の検診を実施した、65歳以上の951人も含まれています。

結果を詳しく見ると、女性が約6割で男性より多く受診しています。結果は異常なしの人は少なく、289人(12%)でした。要指導が1,270人(50%)で、今から気を付け、将来病気になるまいよう、健康相談などを利用し、食事や運動などを見直していただきたい人です。要医療は966人(38%)で、医療機関への紹介状を郵送しました。病気の有無を確認するために受診し、適切な指導を受けてください。

